

熊本地震災害ボランティア活動から生まれた口腔ケアシステム

■取組の目的

視覚機能を設けた口腔ケアシステムで、介護にパラダイムを起こす

- ①要介護者の歯を磨く介護士、衛生士の生産性を向上
- ②視覚機能から得られた情報から、訪問歯科にフィードバック
- ③要介護者に口腔ケアを提供することで、肺炎予防、QOLを提供

■概要

2016年4月に起きた熊本地震の災害ボランティア活動の中で、要介護者の歯磨きを経験した。要介護者は自分で口を開く能力が低下している。口を開くためトレーニングを行う負担、指を噛まれるという感染症のリスク低減に取り組む

■製品特徴

- ①ブラシ部の視覚機能で、口腔内を直接見ることができる
- ②無色透明で視えない歯垢を識別することができる
- ③感覚で判断する口の中を数値というモノサシで測ることができる



■会社概要

歯っぴー株式会社 代表取締役 小山昭則

<https://plaque-detection.jimdo.com/>



九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIQ)
The organization to promote the Health-care And Medical device Industry in K(Q)jyushu